

宮地のたから

6月

八代市立宮地小学校

校長 村本 恭子

「み」みんななかよく 「や」 やりとげよう最後まで 「じ」 自分からすすんでがんばる宮地っ子

子供たちに伝えたいこと

6月6日全校集会 校長講話「履き物そろえ」はなぜするの？

学校では子供たちに、普段から「靴のかかとを靴箱のへりにそろえましょう」「トイレのスリッパを並べましょう」と指導をしています。ではなぜ、履き物を揃えなければいけないのでしょうか？履き物をきちんと並べることを目的としているではありません。履き物を揃えることで大切な力を身につけることを目的としているのです。

どちらも宮地小学校のトイレのスリッパです。どちらが気持ちよいですか。



まずは左の並び方を「よい」と気づく「気づく力」見て何も感じなければ成長はありません。まずは「気づき」です。その後「考える力」次に使う人のことを考えます。次の人が困らないよう、使いやすいように考え、「実行する力」並べることです。履き物揃えができる人は他者への思いやりがある人です。また、自分の行動を振り

り返り「後始末」ができる人です。人が社会の中で生きていく上で思いやりや優しさ、自分の行動を振り返ることは大切なことです。こんな子供を育てるために学校では日々の指導に取り組んでいます。

6月8日 人権集会 校長講話「言葉」を大切に

ひとつのことばでけんかして ひとつのことばでなかなかおり
ひとつのことばで頭が下がり ひとつのことばで心が痛む
ひとつのことばで楽しく笑い ひとつのことばで泣かされる
ひとつのことばはそれぞれに ひとつの心を持っている
きれいなことばはきれいな心 やさしいことばはやさしい心
ひとつのことばを大切に ひとつのことばを美しく



北原白秋の詩です。友達、家族、人と人がつながるために「言葉」がとても大切です。

入学式、始業式の時、「困っている友達がいたら『大丈夫？』と言葉をかけてください」と話したことを子供たちは覚えていてくれました。また、自分がされていやなことは「やめて」と言葉で気持ちを伝えることの大切さも伝えました。

集会後の子供たちの感想を紹介します。

・いじめられていたら止めたり、いじている人に「やめて」と言ったり、相手に気持ちを分かってもらえるように言葉でちゃんと伝えることが大切だと思いました。友達がいじめられていたり、悪口を言われていたりするのを近くで見ているのにこわくて「大丈夫？」とも言えなかったけど、次は勇気を持って伝えてみたいと思いました。

・言葉には「よい言葉」と「よくない言葉」があります。よくない言葉は人を傷つけます。考えて使います。